

静間小だより

～気づき 考え みんなで創り出すⅡ～令和7年 10月号

「気づき 考え みんなで創り出す」⑰

「最後の運動会を本気で楽しもう！」



9月20日（土）に運動会を行いました。「最後の運動会を本気で楽しもう！」がスローガンでした。2学期始業式での「**本気**で気づき **本気**で考え **本気**でみんなで創り出そう」という私の話を受け

て、「本気」を大事に取り組んでいこうという子どもたちの志をとてもうれしく思いました。

運動会に向けて子どもたちは、全校みんなでつながり合って、学年種目や開閉会式、応援パフォーマンスの練習をしてきました。

取組の中で子どもたちの素敵な姿がたくさん見られました。「**本気**」の姿です。

- 8人の少人数であっても、知恵を出して創り出そうとしている6年生の姿
- 応援練習の積み上げの中で変化していくチーム力
- 6年生の下級生への声かけがどんだん的確になっていく姿
- 6年生の言葉に耳を傾け、一生懸命応援練習に向かっている下級生の姿
- 暑い中でもたくましく練習や役割に向かっている子どもたちの姿
- 競技や応援以外の「礼法」や「返事」「拳手」「かけ足」にも本気の姿

1回1回の練習の中で新たな「**気づき**」が生まれます。そして今後の取組の方向をみんな「**考え**」ます。それは、自治・協働あふれた運動会を「**みんなで創り出す**」ことにつながっていきます。「最後の運動会を本気で楽しもう！」というスローガンに向けた取組は、今後の学校生活の支えになっていくと信じています。

教職員は、子どもの気づきをうまく引き出し、子どもの願いや思い、こだわりが込められた取組ができるように指導・支援をしてきました。「気づき 考え みんなで創り出す」学校教育重点目標を、子どもたちも、教職員も大事にしてくれていることを改めて実感することができました。



子どもたちと教職員が協働して創り上げた現静間小学校最後の運動会でした。

全国学力・学習状況調査より①

4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果をもとに、今後の授業のあり方を「弱みとなる問題」から考えました。

【国語】1つの問いについて、必要な情報を読み取り、条件に沿いながら文章記述をしていく学びを積んでいく（物語・説明的文章等 すべてに教材の中で、ここを意識した授業を組み立てていく）。また、言葉や文章を手がかりとしながら、叙述をとらえ、めあてに迫る学びを「文章表現」を核としながら積んでいく。

【算数】問題文を「図表」や「数直線」等に落とし込みながら問題場面を解釈したり、式の構成を考えたりしていく。また、立てた式を「図表」や「数直線」に落とし込みながら数学的に説明・証明したりしていく学びを積ませる。

子どもの学びの実態に沿いながら、効果的な授業展開と授業展開にしかける手立てを考えていく。

【理科】単元と単元の系統を意識し、過去に学んだ科学事象を活用しながら問題解決をしていく学びを積ませることが大事である。そのためにも、指導者自身が、単元と単元の系統を考慮しながら授業を組み立てていくことを意識していく。

また、身近な環境問題（SDGsなど）と扱う単元をつなげながら探究していく授業も効果的であろう。これは、理科を学ぶ有用性への実感にもつながる。

概要のみのお伝えで、分かりづらい記載となりましたが、上記のことについて、教科や単元の特性を考えながら具体的なビジョンを描き、授業実践を積んでいきたいと思えます。

学校保健委員会～今年度も田村先生から学ぶ～



10月10日（金）の学習公開後、今年度も広島大学の田村典久先生をお招きして学校保健委員会を行いました。田村先生には、「大田まるごと睡眠都市」をテーマに、睡眠改善を通して、心の安定を図り、子どもたちの学びとくらしの質を高めていくための取組を大田市全体で展開していただいています。この学校保健委員会だけでなく、田村先生牽引のもと、大田市内の子どもたちは睡眠学習を行っています。また、今年度は市P連研修会でもご講演をいただきます。さらには、市内小中学生に睡眠を意識したくらしができる下敷きとものさしを作っていただき、配付していただきました。イオンでの睡眠相談会も開かれます。大田市のすべての子どもたちのために、お力添えをしていただいていることをうれしく思っています。

睡眠にかかわる課題は、子どもたちや家庭によって違ってきます。本日の学校保健委員会を通して、課題と取組の方向性が見えてきたのではないかと思います。今日の学びをできるところから実生活につなげていただければ幸いです。

赤ちゃんふれあい交流



いろいろな世代の方々とうかがわり、どう関係をつくっていけばよいかを考えていくことは、とても大事な学びです。10月8日、赤ちゃんとのふれあいをしました。私も今年おじいちゃんになりました。久しぶりに身近に赤ちゃんのいるくらしで、とても楽しいです。何かを訴えようと一生懸命泣いています。体を動かしています。何を伝えたいのかよく分かりません。でも、何とか理解しようとはがんばっています。きっと、子どもたちが赤ちゃんの時も同じで、家族のみなさんは、一生懸命だったと思います。そんな家族の思いにも気持ちを向けながら、有意義な交流ができました。